

さわやか通信

令和元年 10月1日発行

No.20

株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成12年12月
代表者 代表取締役 平山正明
事業内容 福祉事業全般 筑紫地区を中心に
グループホーム 小規模多機能型居宅
介護施設の運営を主たる事業としている
基本理念 住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら
せる老後をお手伝いします
基本方針 利用者おひとりおひとり、その人らしい
生活に日々「寄りそう」

あ
ろ
が
ま
ま
に
祭
し
く

ゆ
つ
た
と

さわやかテラス 二日市

利用者 Kさん



絵 木附 和子様 (90)



筑紫野市では、市長が就任後の平成二十三年から、「移動市長室」として、市長が自ら各地域へ出向き、市内で活動する団体やグループと身近なテーマについて対話を行うことで市の情勢や市民のニーズを把握し、今後の市政に生かすことを目的とし、月に一回程度実施されているものです。

今回、筑紫野市高齢者支援課から、地域密着型サービス事業所において、認知症カフェ「喫茶いこい」が、地域の方が集い語らう場になっていることや、専門職も参加している活動を、「移動市長室」で報告をしてみませんか。と話しを頂き、活動報告することになりました。

活動を報告するにあたり、上古賀区の区長の今村さん、民生委員の萩尾さん、宮崎さん・筑紫野市介護を考える家族の会山下さん・毎回身近に役立つ情報を話してくださる、たかもり薬局の高森さんに協力をいただき、報告内容を相談しながら、「喫茶いこい」をはじめたき



つかけや、年間の取組をまとめました。八月二十一日（水）筑紫野市役所にて「第九十二回移動市長室」認知症カフェの取り組みについての報告を行いました。

認知症カフェとサロンの違い、そして、認知症カフェが期待されること。

地域の方から意見をいただいで「喫茶いこい」と名がついたこと。これまでの「喫茶いこい」の活動報告をしました。また、地域密着型サービスが感じる使命について、これまでに出会ったご家族の苦悩や、「あるがままに」生きたいと願う認知症であるご本人の思いがあること。その思いが、認知症カフェや様々な啓発活動に繋がっていることなどを報告しました。



市長から「よく理解できました。これまでよく頑張られましたね。」と労いの言葉をいただきました。



その後、さわやか憩いの家二日市へ市長が視察にいられました。九十歳の方が市長を案内され、いつも行っている「筑紫野恋歌健康体操」を一緒にした後、皆さん市長と握手をされ大変喜ばれていました。有意義なひと時を過ごすことができました。



【二十周年の記念行事】

平成の幕開けに、「さわやかテラス二日市」を開設し、間もなく二十年を迎えます。十周年記念には、日本経済大学の講堂をお借りして、地域に向けた認知症ケアの講演会を開催しました。また、十五周年には、これまでの認知症ケアをまとめた「鍵をかけないケア」を出版しました。

二十周年を迎えるにあたり、現在、記念行事のプロジェクトチームを立ち上げ、これまで関わって下さった地域の方々や専門職の方にも還元できる企画を考えています。来年のオリンピックキヤーに開催できるようにしています。ご期待ください。



(二十周年プロジェクトチーム長野太一)

【さわやかテラス二日市の移設】

筑紫野市立明寺の「さわやかテラス二日市」が老朽化に伴い、移設をする予定になっています。

もともと、改修型のグループホームで、築三十年を超えてくると、法的な基準が満たせなくなってきたのも現状です。

現在、市とも協議しながら、来年には移設ができるように話をすすめています。

【災害広域相互支援協定 改め、CRJ協定への名称変更】

熊本県の誠心会さんと二社間で作った協定ですが、交換研修や訓練・会議を重ねる中で、設立の目的である専門的な相互支援体制は出来てきました。

そこでもとの協定の輪を広げようという意向から、「相互」ではなく違う名称に変えようという事になり、互いに候補を出し合い十個程の中から、『CRJ』に決定しました。

CRJはケアレスキュージャパンの略称です。偶然にもカナダのボンバルディア航空のジェット機シリーズと同じ名称ですが、そのジェット機シリーズにも「地域の航空機」という意味があります。我々の協定で例えるなら「被災時には認知症ケアの専門職がどこへでも支援に飛んで行きます」という意味を込めCRJ協定に決めました。

今後いつ起こるか分からない災害に備え、このCRJ協定の輪を九州各県に広げ、顔の見える関係を築きながら、万が一に備え助け合っていけたらと思います。

興味関心のある方は連絡をお待ちしています。

※つい先日、三菱スペースジェット(旧MRJ)がCRJを買収したそうです。



【福祉教育推進プログラム】

大野城市地域福祉活動における市民活動推進計画の一環で福祉教育推進プログラムが行われています。大野城市福祉課と大野城市社会福祉協議会の共同事業で、福祉教育推進教育校の指定を行い二年間かけてプログラムが実践されています。

昨年度から大野北小学校が福祉教育推進教育校の指定を受けており、三年生八十七名を対象に授業の二コマを使い「認知症ってなあに？」のプログラムにそって認知症サポーター養成講座を行わせていただきました。寸劇を行い、実際に声掛けの体験をしてもらいました。真剣に聞く表情やまなざし、声掛け体験での子どもの優しさを感しました。また「今日から、自分のおばあちゃんだけではなく、ほかのおばあさんたちにも、自分のおばあちゃんにしていたやさしさをもちはべたらしいなと思えました。自分からやれることは、いまやるべきでないことは大人にまかせることを、まもります」という感想をもらいました。これからも子ども達に受け継いでもらえるように取り組んでいきたいと思えます。

(さわやか聴いの家大野城中央責任者 井上 正壽)



【認知症ケア学会 in 京都】



五月二十五日、二十六日「認知症という希望」というテーマで、第二十回日本認知症ケア学会大会が京都府の国立京都国際会館であり「入居者の方との関わりを通してチーム力を上げる取り組み」についてポスター発表してきました。また、今回の大会では若年性認知症の当事者の方々による「今、わたしたちが社会へ伝えたいこと・実現したいこと」についての話があり、若年性認知症当事者の方々の思いを聴かせていただきました。当事者の方々の気づきや提案を発信し地域や暮らしをよりよく変えていく活動の「本人ミーティング」もあり、認知症の方と家族の尊厳が守られる社会の実現や当事者の方々の持たれている大きな力を感じる大会でした。

また西日本豪雨や北海道胆振東部地震で被災された事業所からの報告もありました。近年、地震の発生や異常気象も増加しており、日頃からの意識、減災に努めていきたいと改めて感じました。

(さわやかテラス大野城中央責任者 原田 寛史)



【大牟田市認知症コーデイーター養成研修】

ネーター養成研修

二年間、大牟田市認知症サポーター養成研修に行かせていただきました。全国の認知症ケア最前線に立たれている先生方の講義から認知症ケアの本質を学びました。また、大牟田市で行われている、絵本教室・認知症カフェ・SOSネットワーク・集い語らう会・予防検診等々にも参加でき、有意義な二年間でした。

一貫して学んだ、パーソンセンタードケアについては、人が中心であり、専門職は常に考えて行動することが大切だと学びました。最終課題実習では、理念の継承と、日常生活における意思決定支援の取り組みを報告しました。日常生活において、専門職がご本人に分かりやすい言葉で、ご本人が意思を表明しやすいように声をかける大切さを現場スタッフと取り組みました。そのような積み重ねが敷いては理念の「あるがままに 楽しく ゆつたり」とを継承していくのだと感じました。

(さわやかテラス二日市さわやか聴いの家二日市 統括責任者 田中 順子)



【Run伴+ in 春日】

十月十二日(日)、昨年に引き続き今年もRun伴+ in 春日が開催されます。

昨年は、市内の地域密着事業所をリレーし、市役所ゴールで二百名を超える方の参加がありました。今年は、薬局や病院の先生方も参加予定で、利用者・入居者の方、ご家族、スタッフ、地域の方と一緒に一層盛り上げていけるよう、事業所秋祭りとしてのイベントも企画予定です。



【Run伴+ in 筑紫野】

今年もRun伴+ in 筑紫野を十月二十日十二時三十分開催します。

スタートは「さわやかテラス二日市」です。ゴールに向けてタスキを繋ぎながら、ゴールは、「医療法人 牧和会 アシスト桜台」を目指します。

認知症であってもなくても、互いに尊重しあえる、やさしい町づくりを目指します。オリジナルTシャツ作成しています。



ちよつと深い話

以前勤めていた施設は、外に行こうとされる方を大きな声で止め、それでも行こうとされると、玄関のドアを足で押さえ出られないようにする。ありえない事だらけで、私の気持ちは限界でした。そんな時、ふと目にしたのが「あるがままに 楽しく ゆつたり」とでした。見た瞬間、これだ！と絶る思いで入社しました。家訓の通り、お年寄りには好きな時に好きなものを召し上げられたり、台所に立ちお料理をされたり、ご自分ができることや、やりたいことをさながら過こされています。

そんなある日、フラフラと歩かれています。私には危ないと思いつつ、勝手に車を動かしました。その時、先輩スタッフから、「その方はフラフラしながらも、ここに机がある、気を付けなさい」と思っているかもしれない。あなたが動かし事、あつたはずのテーブルがなく余計危ない。もし、テーブルにつまづいたのであれば、つまづいた時に支える人になりなさい」と言われたことがありました。危ないとその行動を遮らず受け止め、見守ることの大事さを改めて実感しました。そんな日々を送っているとあつという間に七年が経ちました。まだまだ未熟な私ですが、人生の先輩方々に学ばせて頂き素敵なおばあちゃんになればと思えます。

(さわやかテラス大野城 野口 洋子)



—あの日・あの時—

【ありがとうは魔法の言葉】

前職は、電話営業でパソコンに一日中向かう日々で笑顔を忘れていたように思います。子育ても落ち着き、第二の人生として介護の道を選びました。研修先の元看護師の先生より色々な経験談を話して頂き、「本当に大変な仕事です。でも、どんなに辛くてきつい時があっても、患者さんからのありがとうの一言は、ふと肩の力が抜けて、疲れが取れる魔法の言葉ですよ」と言われていました。当時はまだ実感もなく、よく分からずにいました。研修の実習先がさわやかテラス・さわやか憩いの家でした。実習を十日間終えて挨拶させて頂いた時「また待っていますよ」とスタツフや入居者さんに言われ、「ここに戻ってきたい」と思い、働き始めて早七年目になります。最近では「あんたやったね〜」など、私の声や顔を見て安心して頂いている事を実感します。認知症が進むと、「本人は様々なことが不安に思えてきます。「心配ないですよ、大丈夫ですよ」と大切に思っていることをあらゆる手段を使って伝え続けることが一番大事だと思います。

「これまで、たくさんの方の「ありがとう」を頂いています。言葉にできない方は、目をつぶって会釈をして下さいませ。また、手を握り涙ぐまれない

がら感謝の言葉を言われたり、「サンキュー」とかこよく言ってくれたりして、私自身が幸せな気持ちでいっばいになります。何名かの入居者さんのみとりをさせていただき、永眠された穏やかな顔を見て（ありがとうねえと心の声が聞こえてくる様な気がします。あの時の先生の言っていた意味をしみじみ感じています。こんな事をしながらいつも笑って過ごせる仕事は他にないのかもとは思います。入居者さんと家族の様に過ごす中、色々な楽しいことが起き、そのたびに皆で笑顔になります。パソコンにとらめこしいいた時より、ずっと幸せな仕事だなと感じています。これからも「ありがとう」を頂けるように頑張ります。

【保育所との交流】

さわやかテラス・さわやか憩いの家春日の近くの須玖保育所よりお誘いを受け七夕祭りに参加してきました。子ども達の元気で可愛い姿、歌の贈り物に皆さん癒され、笑顔あふれる時間を過ごされました。



（さわやかテラス春日 園田 真澄）

編集後記

先日敬老会が終わりました。その風景をビデオに録画していて、それを皆さんと一緒に見ました。ビデオの中には過去に撮影した、さわやかテラスで「手打ちうどん作り」をしていた映像がありました。それは四年前のことで、皆さんの元気で生き生きとした姿がそこにはありました。今は亡くなられたあの方が、せつせと小麦粉をこねてうどんのたねを作っておられたり、今や歩くことが難しくなっているあの方が、コシを出すためにこねたうどんを思いつきり足で踏んでおられたり、今ではベッドで過ごされる方が多くなったあの方が、包丁を持ってうどんを切っておられたりと、あんなことこんなことがあったんだと四年の歳月をしみじみと噛みしめ、感慨深くなりました。当時の映像を見ていたお年寄りがパツと目を見開いて「そうかそうか、こんなことあったもんね」と、しみじみと思いつたかのように言われた事がとても印象的でした。

年月が経つのは早いものです。目まぐるしく過ぎる日々、何かと忙しい日々ですが、こうして、年月を共にした日々を思い返しつつ、「今」を大切に今出来ることを一緒に楽しみたいと思います。少しでもお年寄りの記憶に残る思い出作りのお手伝いができるようにこれからも皆さんに寄りそっていければと思います。

（広報担当 田中順子・石丸雄司・山本明佳
山本隆太・川嶋文子）

ウェルフェアネット平成31年度の活動

- 社外研修・セミナー参加
 - 日本ホスピス・在宅ケア研究会
 - デンマーク研修・韓国研修
 - 日本セラピューティックケア
 - 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会九州地区での各種研修
 - 他事業所との合同研修
- 各団体との関わり
 - 福岡県高齢者グループホーム協議会
 - 筑紫地区介護保険事業者連絡協議会
 - 福岡県介護福祉士会
 - ホスピス緩和ケアネットワーク福岡
 - 筑紫地区小規模連絡協議会
 - 大牟田市認知症ライフサポート研究会
- 地域との関わり
 - 各地域の自治会・育成会・老人会等
 - 地域の保育園・小学校
 - 民生委員・福祉委員
 - 各地区の地域包括支援センター
 - 筑紫野市介護を考える家族の会
- 相談会や講座開催に積極的に協力
 - 認知症サポーター養成講座
 - 社外実習生の受け入れ
 - 公民館活動との連携
 - 災害広域相互協定の推進
 - 20周年記念プロジェクト

筑紫野市
グループホーム
さわやかテラス二日市
〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1
TEL 092-918-0045 FAX 092-918-0255
小規模多機能型居宅介護施設
さわやか憩いの家二日市
〒818-0042 筑紫野市立明寺534-3
TEL 092-918-3830 FAX 092-918-0255

大野城市
グループホーム
さわやかテラス大野城
〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5-29
TEL 092-513-7511 FAX 092-513-7512
グループホーム
さわやかテラス大野城中央
〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0352 FAX 092-501-0323
小規模多機能型居宅介護施設
さわやか憩いの家大野城中央
〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0322 FAX 092-501-0323

春日市
グループホーム
さわやかテラス春日
〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3307 FAX 092-588-3308
小規模多機能型居宅介護施設
さわやか憩いの家春日
〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3531 FAX 092-588-3308

株式会社ウェルフェアネット本社
〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番405
TEL 092-582-0757 FAX 092-582-0847

検索してね!
検索 さわやかテラス